



NO. 981

2014/8/3

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七



id bepper

ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下から69年 核兵器のない平和な世界の実現を

1945年8月6日に広島、9日に長崎へ原爆が投下されてから69年目の夏になりました。たった一発の原爆によって、その年の終りまでに広島で約14万人、長崎で約7万人もの尊い命が失われました。核兵器の使用は人類と文明に対する犯罪です。

いま世界には約1万6000発もの核兵器があります。人類を何度も滅亡させることができる核兵器を、一刻も早くなくそうと被爆者や草の根の人々をはじめ、国際機関や政府が努力しています。

非人道的な核兵器は廃絶を

いま世界では、ヒロシマ、ナガサキの非人道的な惨劇を繰り返してはならないと、核兵器廃絶を求め、流れが強まっています。

焦点は、核兵器をつくることも、持つことも、使うことも全て禁止する条約の交渉を直ちにはじめることです。

昨年の国連総会で、137カ国が、その提案に賛同しました。「人

類と核兵器は共存できない」という被爆者の声は、いまや国際政治の大勢です。

被爆70年へ、 草の根からの行動を

毎年、8月6日と9日の原爆投下の日にあわせて、原水爆禁止世界大会が広島と長崎で開催されます。

網走からも世界大会へ参加

網走原水協の事務局は、「今年も網走から世界大会へ代表が決まり、この間、市内の企業を訪問して募金をお願いをしました。依然として景気が向上かない経済情勢の中にあるにもかかわらず、ご苦勞様です。協力させていただきますと多くの会社や団体、個人事業主などから快く募金が寄せられました」と、感謝のことばを述べていました。



いよいよ東奔西走

水道、電気、ガス、灯油は生活していくために欠かせないものですが、昨年から続く値上げに加え、消費税増税の追い打ちは多くの年金生活者には厳しい状況です。

特に、月に5万程度の年金生活者は「やりくりも限界です」とこぼし、「報道では、消費税増税の影響を吹き飛ばす景気の上向きなどと書かれているが、地域の実態はひどいものです。何でこうなるの」と憤懣やり方ない様子でした。

その矢先、昨年値上げした北電が泊原発再稼働のメド立たずと平均20%にも及ぶ再値上げする報道です。原発再稼働を盾にとるやり方に憤りを感じます。安倍政権の暴走に便乗する独占企業の悪乗りにもストップを！

菊地ひろし まっしぐら

義母が末期ガンで7月10日から入院しています。入院する前からほんの少ししか食事が摂れず、直前には背中や足

が痛く歩くことも出来なくなりました。1人暮らしでがんばってきた89歳の義母は今、緩和療法だとかで「本人の意思を尊重し、本人に負担のかからないやり方で」と痛み止めの「パッチ」と薬のみの治療を受けている。しかし食事がほとんど摂れずにいる患者が基礎的栄養をどこから摂れるのだろうか（点滴もない）。

意識もはっきりしている義母は「忙しいのにありがと」と言ってくれるが、なんとも割り切れない気持ちで病院を出てくるのです。

松浦 奮戦メモ

26日・27日の雨は、農家のみなさんにとつては「恵みの雨」。雨が長らく降らなかつたために馬鈴薯や甜菜などは、一部の圃場では葉っぱが黄色くなつてきていたそうですから、まさしく恵みの雨でした。

しかし、夕市まつりや花火大会の関係者にとつては大変な思いをしたのではないのでしょうか。そんな雨の中にあつても花火大会を決定した実行委員会の勇気ある判断に、お見事との声が数人から聞きました。私も会場に行っていました。びしょ濡れになってしまひ寒さに耐えられず途中で帰ってきましたが、実行委員会の判断にあつたばい！

流水

アフガニスタンで活動を続けている中村哲医師のお話です▼
1984年パキスタンペシャワールミッシュン

ン病院ハンセン病棟に赴任した中村医師は医療器具や手術設備の十分な環境の下で10年間活動を続け2年後にアフガン難民への診療を本格的に開始した▼2000年にアフガンを襲った大干ばつは凄まじいもので人々の生活を根底から突き崩した。大干ばつ後、中村医師のもとにやってきた患者の多くは子供たちでその背景には栄養失調と水不足があつた。また水不足は農業を壊し日々の糧を得ることが出来なくなった村人たちは難民化し村を離れた。中村医師は水がなければ生きていけない、医療だけでは限界があると水を確保するために井戸掘りを始めた。広大な砂漠で現地住民とともに手作業で懸命に用水路を掘り続け現在16.5キロを完成し農地を潤している▼生きていくための事業に対する支援が何より大事だが、日本政府は中村医師たちに一円の援助も出していない。NGOペシャワール会と住民の協力で今も手作業が続いている▼危険だといわれるアフガンの地で活動が続けられるのは憲法9条の力。銃を向けられない、戦争はしない、9条の精神がアフガンとも中東とも信頼関係が保たれている。これを外交の基礎にすべきだと中村医師は言う。安倍首相、国民の声に耳を傾けよー！(U)